

平成29年10月22日執行

神奈川県第17区選挙区(小田原市、秦野市、南足柄市、足柄上郡、足柄下郡)

衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

地元の声を国の施策へと連動させていく、それが、牧島かれんの役目です。



牧島かれん
まきしま
自民党公認

誠実に、積み重ねる。

私が政治家を志した時、政治への諂めが日本中を覆っていました。「批判するよりも行動しなければ」と立候補し、落選も経験しましたが、初当選から30代全てをかけて、地元の為、國の為に懸命に働いて参りました。政治への信頼を取り戻すのは容易なことではありませんが、誠実に、積み重ねる」を信条に、政策をつくり、実行してきました。この想いは、決して崩れることはあります。

北朝鮮の脅威、そして少子高齢化が迫っています。国難の時こそ、これまで積み重ねてきた実績と実行力が問われているのではないかでしょうか。

地方創生で、日本を元気に!

地方創生を担当する内閣府大臣政務官の職務を通して、全国各地の地方創生の試みを学ばせていただきました。地域の未来を担う若い世代が安心できる地域医療、妊娠、出産、子育ての切れ目のない支援から、その先の介護に至るまで、大胆な投資が必要です。児童教育の無償化に向け、全世代型社会を保障を目指します。

国、県、市・町でしっかりとスクラムを組むことで、地元の声を国へと反映させ、国のメニューを地元で効果的に活用できるようになります

比例代表も自民党へ

地元のために実行できること、継続のこと(一部抜粋)

- 大涌谷への対応
- 学校施設の防災力強化
- 鳥獣被害対策、ジビエ認知度UP
- 子育て世代のために役所のIT化推進
- 3市8町の地方創生プランへの企画提案・支援

多様な働き方を実現

- ハンディの有無にとらわれず、人生100年時代へ向けライフ・ステージに柔軟に対応した働き方促進
- 中小企業の支援拡充
- 職人、マイスターの育成

地産地食&外商で農林水産漁業活性化

- 6次産業化の強化
- 2020年に向け国際認証で安全性と日本のブランド力をPR
- スマートインターネット等を活用し、直売を後押し

危機に強いニッポンに

- 大災害を想定した防災・減災対策
- 消防団への加入促進
- 被災地の早期復興
- サイバーテロ対策強化
- ユニークサルデザインの街づくり

世界をリードする責任

- 周辺情勢の変化に対応した防衛力の強化
- 戦略的外交の推進
- 長寿国日本としてのロールモデルの確立
- 途上国の教育支援
- 拉致被害者早期救出

<牧島かれん プロフィール>

- 1976年11月1日生まれ
- 小田原市本町在住
- 博士(行政学、ICU卒)
- 元内閣府大臣政務官(地方創生、金融、防災担当)
- 資格: わな狩猟、防災士、野菜ソムリエ
- 議連: 二宮尊徳思想研究会事務局長
- 全国温泉振興議連事務局長
- 旅館の未来研究会副会長

f 牧島かれん @makishimakaren

詳しくはホームページで www.makishimakaren.com

比例代表も自民党へ

自民党公認

共産党躍進で安倍暴走政治退場を 野党と市民の共同で新しい政治をつくる



日本共産党
横田英司
よこたえいじ

比例代表
は比例
日本共産党
くわざい

憲法9条改憲は「ノン」
海外で戦争する国にする
で戦争する国づくらの道真立す。三つの憲法は廃止し、立憲主義の回復を。世界に誇る日本の宝――憲法9条を守り、平和外交をすすめます。

北朝鮮の無法に抗議、経済制裁と一体の「対話による平和的解決」を

- 核兵器禁止条約に参加する政府を唯一の被爆国・日本政府は、いまこそ核兵器禁止条約に参加することです。核兵器廃絶の先頭に立ってこそ、核保有国に核兵器禁止を求めることができます。

原発再稼働をやめ
原発ゼロの日本へ

日本共産党を伸ばし安保法制廃止、憲法守る政治へ

暮らせる社会を8時間働けばふつうに

「残業代ゼロ法案」を許さず、長時間労働を法律で規制し、過労死を根絶。非正規から正規への流れをつくり、最低賃金を大幅に上げます。

消費税10%は中止

安倍首相夫妻がかかる「森友・加計学園疑惑」と国政の私物化。世論調査では国民の7割が首相の説明に「納得できない」と答えています。真相究明に尽力することは許されません。

野党と市民の共同で新しい政治をつくる

党17区 国政対策委員長
略歴
1957年高知県生まれ。静岡大学理学部物理学科卒業。三菱電機コンピュータソフトウェア(株)現・三菱電機インフォメーションシステムズ(株)勤務を経て、党神奈川県委員会に勤務。現在、党県委員会。趣味は沖縄語及び沖縄歴史関係の書物の読書。現在鎌倉市在住。



前衆議院議員(2期)
希望の党
かみやまよしうけ
神山洋介

1 アベノミクスの成果は地域の暮らしに届いていない
わたしたちの暮らしは、どうなった?

将来の不安を解消したい。異例の景気刺激策に頼らない、景気回復の実感が伴う経済政策が必要です。

未来への責任

4 国民の大半が納得できない
国民への説明、国会での議論
「仕事人内閣」は、どうなった?

森友・加計学園問題隠しは権力の私物化。徹底した行政情報の公開を提案します。

2 北朝鮮・安全保障
今、何よりも優先すべき課題
政府の対応で周辺環境は、どうなった?

人員不足の自衛隊に単純に新装備を導入しても運用できません。人員等の基礎体制整備を進めるべきです。

5 生まれ育った県西部の課題を解決
地域創生、災害対策は、どうなった?

箱根大涌谷の噴火をきっかけに、「災害の事前予防・災害予防のコストを埋め合わせる法律」を提案。観光産業をはじめ、地域の実情にあつた、日本全体も、県西部も元気になる経済政策を提案します。

3 生活の不安を解消
まずは雇用・教育・福祉から
政府の施策で県西部は、どうなった?

働くことができる、子どもが健やかにたくましく育つ、生活環境に恵まれた県西部の潜在力を伸ばします。

積小為大
この地の生んだ思想を胸に。

二児の父
子育て世代
2001年結婚
2002年誕生
2007年次女誕生
小田原在住

42歳
政治活動10年

1975年 小田原に生まれ、湯河原に育つ

ごゆるぎ幼稚園(小田原市)
湯河原町立吉浜小学校・湯河原中学校
1994年 立平塚江南高校卒業
1999年 慶應義塾大学法学部政治学科卒業
第一生命保険 入社
2006年 (財)松下政経(24期卒塾)

衆議院内閣委員会理事、安全保障委員会理事、国土交通委員、農林水産委員、地方創生特委員
民主党政員室幹事長、政務調査会副会長、活火山噴火対策P.T.事務局長等を歴任

www.kamiyama-yosuke.com